

アンケート調査項目

校務分掌組織の機能状況について

R ↓ V	実 態 把 握 等	1	生徒指導に関わる計画の立案や校内研修にあたっては、実態（保護者、地域の願い、環境など）を調査し、生徒指導にかかわる学校の強み、弱みを明確にした上でやっている。
		2	児童理解を多面的に行うような調査が行われている。
		3	児童の実態を数値で把握し、分析している。
P ↓ D	目 標 等	4	生徒指導係を校務分掌組織に位置づけている。
		5	生徒指導計画書に、生徒指導部内のすべての役割の仕事内容を明らかにし、かつ、具体的にいつ、だれが、どのようにそれを行うか明らかにしている。
		6	学校教育目標と連動した生徒指導目標・方針を作成している。
	年 間 計 画 方 針 等	7	児童や保護者の望み等の調査に基づいて、生徒指導方針を明確に設定している。
		8	担任は学級経営案に、生徒指導目標や方針と連動した取組を設定している。
		9	教育指導計画書には、各々の校務分掌がどのような生徒指導を行っていくのかを目標やその内容として明示している。
		10	生徒指導計画の中に、積極的生徒指導や予防・開発的教育相談（構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポート等）にかかわる活動が、計画的・具体的（いつ、だれが、どのように行うか）に明記されている。
	研 修 計 画 等	11	生徒指導方針や全校共通の指導基準を作るため、全教職員が参加する会議が計画されている。
		12	全職員が分掌を超え、生徒指導に関する問題や課題を共有するための会議が計画されている。
		13	生徒指導年間指導計画の中に生徒指導にかかわる教員研修が意図的に組み入れられている。
	連 携 計 画 等	14	生徒指導年間指導計画の中に家庭や地域との連携についての項目がある。
		15	生徒指導に関して、地域の人材、機関、環境などを活用する計画がある。
		16	生徒指導の目標や内容などについて家庭や地域へ説明する場を持つよう計画している。

D ↓ C	役割共有・尺度共有等	17	本校の教職員は、一学級の問題を全校の問題としてとらえたり、組織として動くために今自分がなすべきことは何かを理解したりしている。	
		18	本校の教職員は、生徒指導組織内の全役割の仕事内容、仕事量、取組を理解し共有している。	
		19	本校の教職員は、問題(目標とされる状態と実態との差)を共有している。	
		20	本校の教職員は、課題(問題を整理したもの、解決すべきテーマや方法)を共有している。	
		21	本校の教職員は、課題解決のための見通しや、取り組むべき具体的対応策を複数共有している。	
		22	本校の教職員は、数値など標準化された尺度で、実態を把握し、共有している。	
	研修・情報交換等	23	生徒指導方針や具体的な取組について共有する会議(場面)を行っている。	
		24	会議等では、実態調査などの結果である数値(共通のものさし)を活用している。	
		25	本校の教職員は、会議以外でも積極的に分掌をこえて児童理解に関する情報を交換している。	
		26	取組の苦労等を交流する会議(場面)を行っている。	
		27	予防・開発的生徒指導のためのケース会議(具体的・実例的な事例について、その背景や対応策を話し合う)を行っている。	
		28	最新の動向をふまえた生徒指導研修を行っている。	
		29	全教職員の生徒指導スキルアップを図る校内研修を行っている。	
	指導実践等	30	全教職員は自らの専門性を生かして役割遂行している。	
		31	共通指導基準のもとで、全教職員が継続的に指導している。	
		32	生徒指導・教育相談の両面をふまえた指導を行っている。	
		33	児童の発達段階をふまえた指導を行っている。	
		34	個々の児童に応じた指導を行っている。	
	C ↓ A	評価等	35	年度途中で、各々の分掌ごとに、評価規準(数値)に基づき評価する取組がある。
			36	全教職員が改善の方向への見通しを共有している。
	A ↓ P	改善等	37	児童の意見・評価を取り入れた具体的な改善策を全教職員で協議し、共有している。
			38	保護者の意見・評価を取り入れた具体的な改善策を全教職員で協議し、共有している。
39			学校だよりやHPを利用し、評価結果や改善策について情報発信している。	

分掌生徒（生活）指導主担当の役割について

生徒指導主担当の調整	40	生徒（生活）指導主担当は、校務分掌上の組織の中心として、組織的・計画的に運営している。
	41	生徒（生活）指導主担当は、学校の生徒指導全般にわたる業務（企画・立案・処理）を行っている。
	42	生徒（生活）指導主担当は、教科指導全般にわたるカリキュラム開発をリードし、推進している。
	43	生徒（生活）指導主担当は、生徒指導を計画的・継続的に運営するため、校務との連絡調整を図っている。
	44	生徒（生活）指導主担当は、生徒指導部（係）のメンバーや学級担任その他の関係組織の教員に対して指導・助言を行っている。
	45	生徒（生活）指導主担当は、必要に応じて児童や家庭、関係機関に働きかけ、問題解決に当たっている。
	46	生徒（生活）指導主担当は、情報を集約し、問題の本質を明らかにした上で本校における生徒指導上の課題を明らかにしている。
	47	その課題を解決するために、生徒指導担当としてどう取り組むか示して（されて）いる。
	48	生徒（生活）指導主担当の調整機能に基づいて、学校全体が機能している。
	49	各分掌での取組について、生徒指導の機能が発揮できるように整合性の保たれた年間計画を作成して（されて）いる。
	50	生徒（生活）指導主担当は、問題解決のために必要な情報を収集し、短期目標・長期目標に整理して方針を明示している。
	51	生徒（生活）指導主担当は、短期目標にそって、その場で対応すべき体制を組織し、必要行動を指示して（が指示されて）いる。
	52	生徒（生活）指導主担当は、初期対応が終了したら、初期情報を整理し次段階の対応方針を示している。

児童の様子や家庭との連絡状況について

児童 安 定 度	53	本校の児童は、全般的に落ち着いた様子で学校生活を送ることができている。
	54	本校の児童は、朝余裕をもって学校に登校しており遅刻も少ない。
	55	本校の児童は、悩みや問題などを積極的に教職員に相談できる。
	56	教師保護者間の連絡がしっかり取れており、欠席等の届が提出（連絡）される。

生徒指導組織の機能化に関する実態調査

回 答 用 紙

①あてはまらない ②あまりあてはまらない ③ややあてはまる ④あてはまる

※ 回答欄へは丸数字でなく算用数字（1～4）で結構です。

項目	回答	項目	回答	項目	回答	項目	回答
1		16		31		46	
2		17		32		47	
3		18		33		48	
4		19		34		49	
5		20		35		50	
6		21		36		51	
7		22		37		52	
8		23		38		53	
9		24		39		54	
10		25		40		55	
11		26		41		56	
12		27		42			
13		28		43			
14		29		44			
15		30		45			